

ドライブレコーダー

KH-DR200

取扱説明書

保証書添付



Ver1.00

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。
- 写真及びイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。
- 本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

・はじめにP1
・安全上のご注意P2
・本製品についてP5
1. 本体各部名称・機能P6
本体の各部名称・機能	
2. 本体の準備および接続P7
各種準備、接続についてまとめてあります。	
3. 使用方法P12
4. 各種メニュー設定項目についてP13
5. 再生方法P14
6. 注意すべき内容P15
7. 主な仕様P18
8. 故障かな？と思ったらP19
・保証書巻末

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しくご使用ください。
本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。
また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。
※レンズ部には保護フィルムが装着されているので、赤いタグを持ちはがしてください。

- 本体 ×1
- 車載用シガー電源アダプター ×1
- リアカメラ(約6m) ×1
- 専用ステー ×1
- microSDカード ×1
- 取扱説明書 ×1



本体



シガー電源アダプター



リアカメラ



専用ステー



microSDカード






取扱説明書
(保証書付)

※: 本体には挿入されておりません。
取扱説明書に貼り付けてあります。




安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

— 警告 —

使用するとき

● 運転中は本製品を操作したり、本製品の液晶画面は見ないでください。



禁止

事故の原因となります。運転中は液晶画面をオフにしてください。本製品を操作する場合は、安全な場所に停車してから行ってください。

● 運転操作に支障がない場所に本製品の取付や電源コードの設置を行なってください。



禁止

設置場所は運転の視界のさまたげにならないか確認してください。電源コードがハンドル等に絡まないよう、配線の取り回しを行なってください。

● シガー電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してから抜くこと



禁止

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサポートセンターにご相談ください。

● 高温になる場所で長時間放置及び使用しない



直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに放置しないでください。火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。ご使用後は取り外し日陰などのところで保管してください。

使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。



警告

設置するとき

- フロントガラスの上部20%、ドライバーから見てルームミラーの影になる位置が目安です



禁止

フロントガラスの汚れを落とし、ブラケットの吸盤を押し当てながら固定レバー押ししてしっかり固定させます。しっかり固定させないと本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

※フロントガラスへの取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。

運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラスの上部より20%以内のところに取付してください。その際ミラーと干渉しない場所及び、ワイパーのふき取り範囲内に取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。

警告

シガーアダプターについて

- シガーアダプターを 分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

- シガーアダプターは付属のものを 使用すること



禁止

指定以外のシガーアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。

- アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
- ・引張ったり、重いものをのせたり、はさんだりしないこと
- ・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

- シガーアダプターはDC12V～24V 対応です。電源変換器は使用しないこと



禁止

電圧変換器(DC-DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがありますのでご使用にはならないでください。

- シガーソケット内の汚れを取り除く



指示

シガーソケット内に汚れが付着している場合は、製品動作が不安定になる場合があります。

- ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因となります。

- シガーアダプターをシガーソケットから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやアダプターが傷つき、火災・感電の原因となります。アダプター本体を持って真っ直ぐ抜いてください。

本製品について

- ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
- すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機の録画映像は事故等の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用によって生じた損害、記録された映像やデータの消失・損傷・破損による損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画・撮影した映像は使用方法によっては非撮影者の肖像権・著作権・プライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが弊社は一切の責任を負いません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の認識ができない場合があります、そのような場合は前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 運転者は走行中液晶画面等注視したり、機能操作はしないでください。走行中は画面をオフにしてください。本機を操作する場合は安全な場所に停車させてから行なってください。
- 静電気や電気ノイズ、水に濡らしたりした場合、長期間使用しなかった場合など撮影されたデータが破損する恐れがあります。
- 本機を取り付け時に、ノイズ等で他の車載製品に影響が生じた場合は、対象の機器と本機をできるだけ離して設置してください。

《内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて》

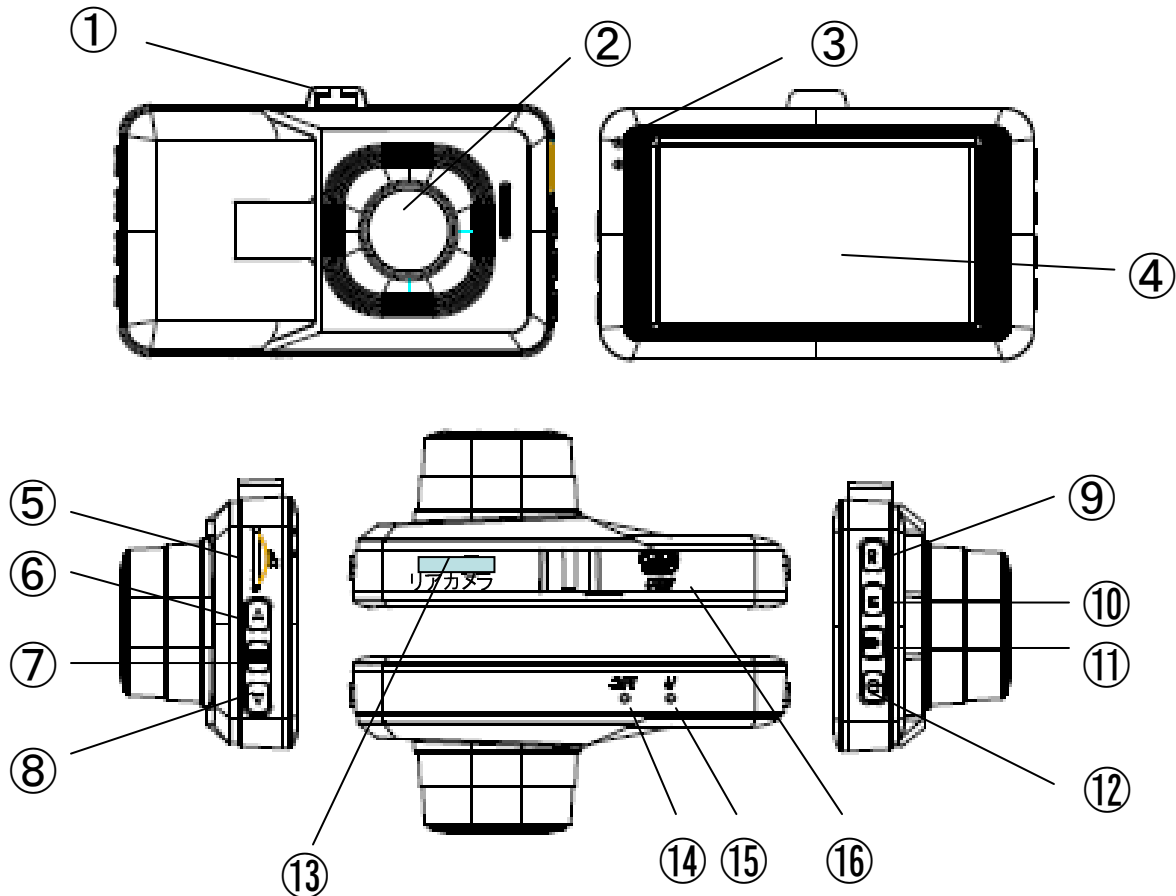
- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

※炎天下の車内や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。

ご使用後は取外して、日陰などの場所で保管してください。

1: 本体各部名称・機能

本体各部の名称



※画像が実物と異なる場合があります。

- ①. 取り付けステー部
※専用ステーは付属品です。
- ②. レンズ
- ③. LEDランプ(電源ON時:赤点灯)
- ④. 液晶パネル
- ⑤. microSDカード挿入口
- ⑥. △ボタン
※録画中は音声録音OFF/ON
- ⑦. メニューボタン
- ⑧. ▽ボタン
- ⑨. OKボタン
- ⑩. モード切替ボタン
- ⑪. ファイルロックボタン
※録画中のみ動作します。
- ⑫. 電源ボタン
- ⑬. リアカメラ端子
- ⑭. 内蔵マイク
- ⑮. リセットボタン
- ⑯. 電源端子
※miniUSB端子(5V)

2: 本体の準備および接続

microSDカードの装着

本製品には、microSDカードが1枚付属されています。

動画や静止画を撮影するためのものです、各機能の設定後電源がオフの状態でご本品にmicroSDカードを装着してからご使用ください。

また、市販のmicroSDカードをご使用するときは8GB～32GB(Class10以上)のものをご用意ください。

※本体には挿入されておられません。本書(取扱説明書)に貼り付けてあります。

※付属のmicroSDカードは、本機でフォーマットしてから使用してください。

※市販のmicroSDカードを使用する時は、フォーマット作業を行ってから使用してください。

microSDカードの向きに注意してカチッという音がするまでツメで押し込んで装着ください。



取り外す際は、ツメでカードをカチッと音がするまで押し込み指をはなします。カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。

【留意事項】

- microSDカードを挿入する向きにご注意ください。間違った向きで無理やり押し込むと、本機およびmicroSDカードが破損する原因となります。
- microSDカードは消耗品です、定期的に新しい物と交換してください。
- microSDカードの性質上、書き込み回数など製品寿命があります。繰り返し書き込みをしていると、カードのメモリ内部に不良箇所が発生する場合がありますので、定期的にフォーマットをおすすめいたします。
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。また、ごくまれに本機とSDカードの親和性不適合なものがあり、本機で正常に動作しない場合や、本機自体が突然に起動できなくなるなどの障害が発生する場合があります。

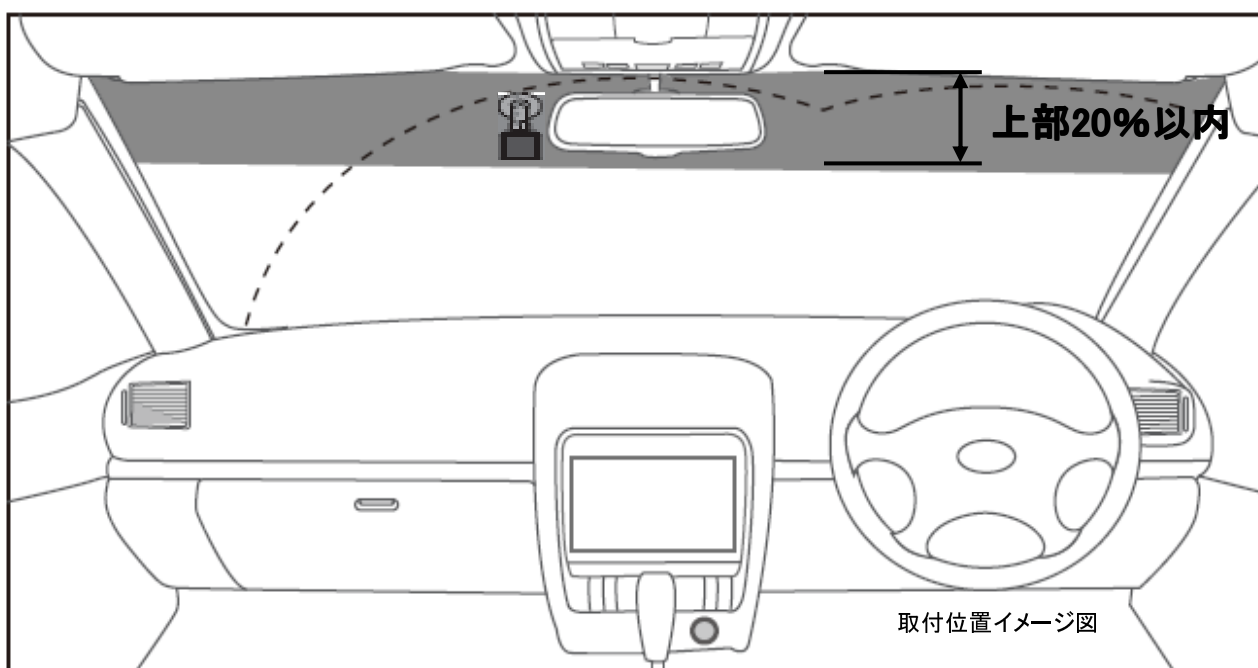
取付位置について

車両のフロントガラスに、同梱の取付ステーを使用して取付てください。フロントガラスへの取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラスの上部より20%以内のところに取付してください。その際ミラーと干渉しない場所及び、ワイパーのふき取り範囲内に取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。



取付方法

本体に付属の専用ステーを取り付けます。

①本体カメラに専用ステーをスライドすることで取り付けできます。



②フロントガラスの取り付け面のホコリや油分などをきれいに拭き取り、台座吸着面のシール台紙をはがして、取り付け面に強く押し当ててください。

③フロントガラスに固定後、落下しないように固定されているのを確認してください。

※Gセンサーを正常に機能させるためにレンズの向きを車両進行方向に対して水平になるように調整してください。

※ヒンジ固定ナットは確実に固定しないと、走行中にカメラがずれたり、Gセンサーが適切に作動しない場合があります。また、不用意にGセンサーが反応して、microSDカード内にロックされた保護ファイルが満杯になり、録画できない状態になる場合があります。

電源をオンにした後、適切な場所を映しているか、モニターで確認してください。

■リアカメラ接続方法

リアカメラを本体に接続します。

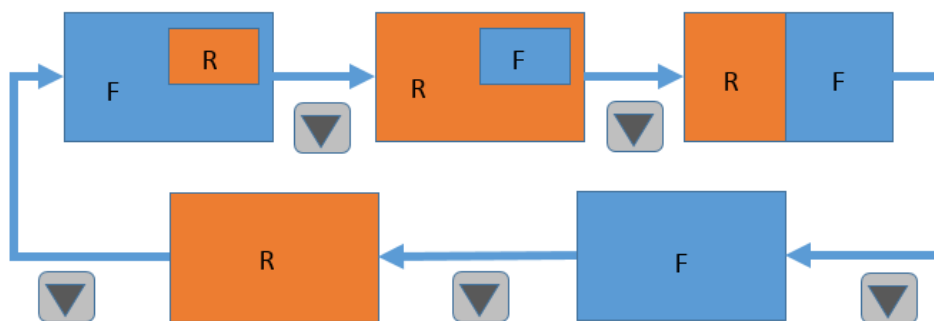
- ①本体側面にあるリアカメラ専用ポートに、付属のリアカメラを接続します。この状態で電源を入れると、「液晶モニター」にリアカメラの映像が表示されるようになります。



- ②運転操作に支障をきたさないよう、カメラコードの取り回しは注意して行ってください。

※リアカメラを取り付ける位置を決め、汚れ、油分を拭き取りして、確実に粘着シールでカメラが固着されるようにしてください。

- ③リアカメラの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。自動的に本体の電源がオンになり、画面が表示され自動的に録画を開始されますが、画面の「▽ボタン」をタッチすると、カメラを順次に切り替えることができます。



- 同梱のリアカメラは本ドライブレコーダー専用です。他の機器に接続しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は車内取付け専用です。車外には取付けしないでください。
- ルームランプ等を点灯し車内を明るくすると外の画像が見にくくなることがあります。その際は、ルームランプ等を消して室内を暗くしてください。
- 本製品は、後方撮影専用のリアカメラです。バックギヤ連動機能や駐車アシスト線の表示機能はありません。
- 走行中でも、後方確認できますが、走行中は直視しないでください。事故の原因になります。
- 本製品は後方撮影用のカメラであり、ドライバーの後方視界を補助し、すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。また広角レンズを使用しており、実際の距離と遠近感が異なります。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。

電源接続および起動/終了方法


シガー電源アダプターを本体に接続します。

- ①本体側面にあるminiUSBポートに、付属のシガー電源アダプターを接続します。
- ②運転操作に支障をきたさないよう、電源コードの取り回しには注意して行なってください。
- ③車両側のシガーソケットへの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。
- ④自動的に本体の電源がオンになり、起動画面が表示された後、録画面面に切り替り、録画を開始します。

※ご購入時、または長時間使用していなかった場合、日時がリセットされている場合があります。その際は時間設定してから使用してください。

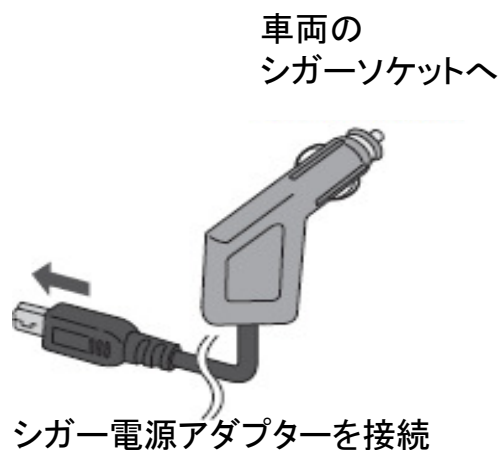
- ⑤エンジンをストップして、シガーソケットからの電源が遮断されると、本体の電源は自動的にオフになります。

※一部車種では、エンジンをストップしてもシガーソケットに通電したままの車種もあります。その場合は、シガーソケットからシガー電源アダプターを抜いてください

※手動で本体電源のオン/オフを行なう場合は、側面の電源ボタン  を押してください。



miniUSBポート



※写真及びイラストは、実際の製品と異なります。実施のUSB端子部はL型の形状となっております。

3:使用方法






ご使用前に、録画モードの設定をおこなってください。

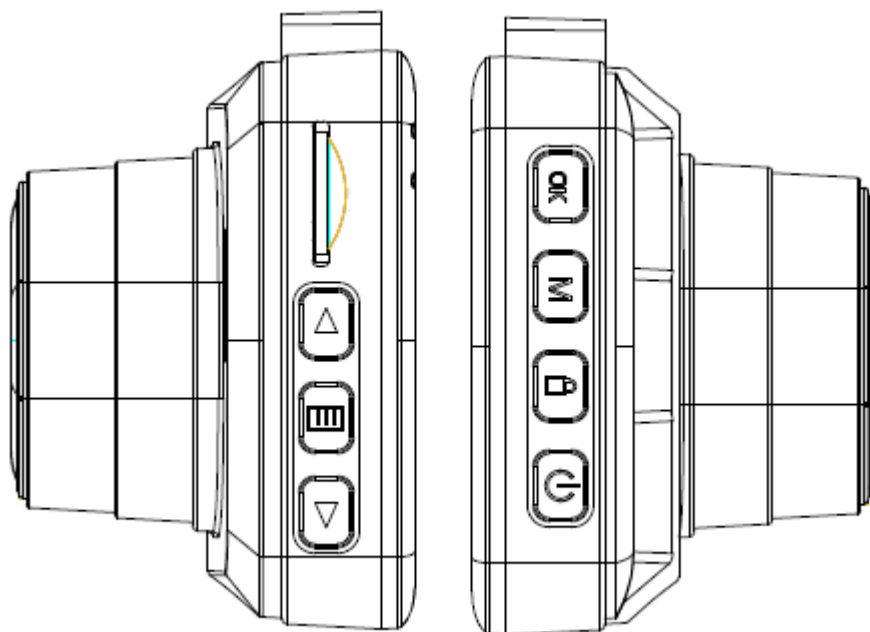
■ドライブレコーダー使用時の各機能切り替え設定について

※本機の起動すると、動画録画状態からスタートします。再生モードへの移行や各種機能切り替え設定をおこなう場合には必ずOKボタンを押して、録画を停止する必要があります。



■ドライブレコーダーの各種機能設定について

本体の「」ボタンを押下すると、メニュー設定画面を表示することができます。各機能設定メニューは「 / 」ボタンで移動でき、「」ボタン押下で設定項目の選択をすることができます。「各種設定メニュー画面」から戻る時は、「」ボタンを押下すると、その時にお使いの機能動画モードに戻ります。



4: 各種メニュー設定項目について

動画撮影モード				項目説明
機能項目	選択項目	初期値	メニュー表示	
解像度	1080FHD 1980x1080	○	なし	動画撮影時の解像度を選択できます。
	720P 1280x720			
ループ録画	オフ		なし	ループ録画時間の設定をすることができます。
	1分	○		
	2分			
HDR	オフ		なし	HDR(ハイダイナミックレンジ)モードのオフ/オンを設定できます。 *: 明暗差が大きい撮影時に生じる黒つぶれや白とびを抑え、より明瞭な映像を記録します。
	オン	○		
露出	+2.0		なし	撮影時の露出を設定することができます。
	+5/3			
	+4/3			
	+1.0			
	+2/3			
	+1/3			
	+0.0	○		
	-1/3			
	-2/3			
	-1.0			
	-4/3			
音声記録	オフ	○	なし	音声記録モードを選択することができます。 *: 初期値はオフで音声記録はされません。
	オン			
日付表示	オフ		なし	録画ファイルに日時を記録する機能です。 *: オフを選択すると日時は記録されません。 *: 初期値はオンです。
	オン	○		
Gセンサー	オフ	○	なし	Gセンサーの感度を設定することができます。 *: Gセンサーに反応して録画されたファイルはロックされます。 *: Gセンサーに反応時の録画時間はループ録画設定に準じます。
	高			
	中			
	低			

一般設定モード				項目説明
機能項目	選択項目	初期値	メニュー表示	
日付/時刻	年	○	なし	日付を設定することができます。 *: 設定方法は「▲/▼」ボタンで数値を設定したら「OK」キーを押下すると、次項目に移動します。本機能から戻る場合には、「モード切替」ボタンを押すと、元のメニュー一覧に戻ります。
	月			
	日			
	時			
	分			
オートパワーオフ	オフ	○	なし	オートパワーオフ機能時間を設定することができます。
	1分			
	3分			
スクリーンセーブ	オフ	○	なし	スクリーンセーブ機能時間を設定することができます。 *: 録画は継続しています。
	3分			
	5分			
	10分			
電子音	オフ		なし	本機設定時の操作音をオフ/オンを設定することができます。 *: 音量を変更することはできません。
	オン	○		
言語設定	English		なし	表示言語を選択することができます。
	繁体中文			
	簡体中文			
	日本語	○		
フリッカ	フリッカ1	○	なし	本機をお使いの地域もしくは環境で、動画記録される機器間の周波数同期をタイミングを設定することができます。 *: フリッカ1: 50Hz相当 *: フリッカ2: 60Hz相当 *: LEDタイプの信号機の場合、ご使用の地域の周波数帯に関係ない場合がありますので、どちらか適正な値を試してみてください。
	フリッカ2			
フォーマット	キャンセル	○	フォーマットすべて削除	SDカードをフォーマットする機能です。
	実行			
工場出荷値	キャンセル	○	工場出荷値	本製品を工場出荷値に戻す機能です。
	実行			
バージョン			LUU-RH-0030-191116	本製品のバージョンを確認することができます。

5:再生方法

■ドライブレコーダー使用時の再生について

※本機の起動すると、動画録画状態からスタートします。再生モードへの移行や各種機能切り替え設定をおこなう場合には必ず録画「OK」ボタンを押して停止する必要があります。

そのうえで、再生「M」ボタンを押すと画面が再生モードに切り替わります。

データファイルの選択は「△ / ▽」ボタンで選択することができます。



■ドライブレコーダーの再生時設定について

本体の「M」ボタンを押下すると、メニュー設定画面を表示することができます。

各機能設定メニューは「△ / ▽」ボタンで移動でき、「OK」ボタン押下で設定項目の選択をすることができます。

「各種設定メニュー画面」から戻る時は、「M」ボタンを押下すると、その時にお使いの機能動画モードに戻ります。

再生設定モード				項目説明	
機能項目	選択項目	初期値	メニュー表示		
削除	現ファイル削除	キャンセル	○	現ファイル削除	:SDカードに記録されたファイル削除方法を設定することができます。 * :ロックされたファイルを選択しても削除できません。SDカードをフォーマットしてすべてのファイルを削除するか、SDカードを取り出してパソコンでファイル名を指定して削除してください。
		実行			
	全ファイル削除	キャンセル	○	全ファイル削除	
		実行			
保護	現ファイル保護	○	なし	SDカードに記録されたファイル保護方法を設定することができます。 * :SDカード内のファイルが保護されているかどうかを判別するには、本機の再生モードで記録されたデータファイルを見て、画面に「キーアイコン」の有無で確認することができます。 * :パソコンを用いてのファイル閲覧からは保護状態を確認することはできません。	
	現ファイル解除				
	全ファイル保護				
	全ファイル解除				

6: 注意すべき内容

- ①Gセンサーは、車体が衝撃を受けた時に、自動的に録画中のファイルを保護する機能です。Gセンサーの感度は高/中/低/オフから選択できます。Gセンサーの感度設定は衝撃の目安です。状況により動作を保証するものではありませんのでご了承ください。
- ②microSDカードに保存されたデータは基本設定モードのメニューで「フォーマット」をおこなうと、保護されているファイルも全て消去されますので注意してください。
- ③周波数を変更しても、LED式信号機を撮影した場合。信号が点滅・消灯して映ることがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。
- ④内蔵バッテリーでの動作時間は目安は「本体＋リアカメラ」のフル充電状態で約1分です。これは仕様ですので、あらかじめご了承ください。
参考:リアカメラを接続していない本体のみでの使用の場合は、消費電力が低減できるために約5分と長くなります。
- ⑤内蔵バッテリーは、本機にDCシガーアダプターを經由して電力が通電接続が成立した時点で自動的に充電されます。
- ⑥リセットスイッチは、本製品が動作しなくなったり誤作動を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細いもので押して、本体のシステムを再起動してください。リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。
- ⑦万一のデータ消失に備え、必要なデータはPCに保存することをお勧めします。
- ⑧本体の汚れ等は、柔らかい布で乾拭きしてください。水や洗剤、液体は使用しないでください。液晶画面は強く押しついたりしないでください、破損の原因となります。

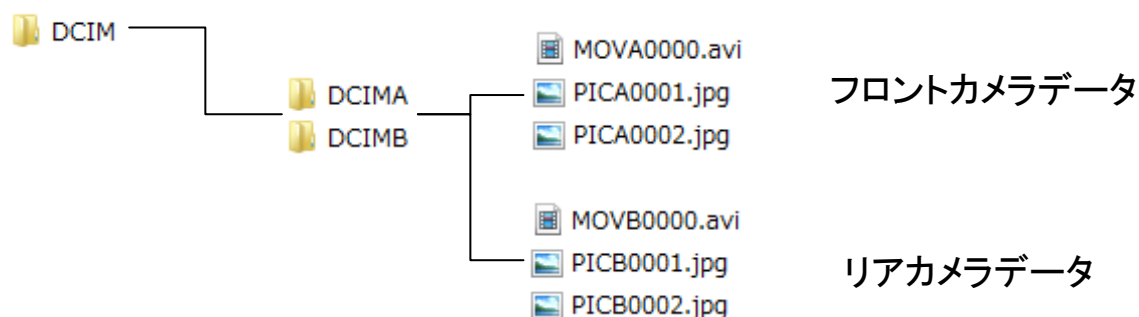
⑨動画の撮影可能時間/枚数は、以下の仕様になります。

動画解像度	ファイルサイズ		最大格納数	
	ループ録画:1分		16GB	32GB
1080FHD 1920x1080	フロントカメラ	250MB	39個	79個
	リアカメラ	160MB		

※:上記の数値は目安で、撮影する条件によっては異なる場合があります。
 ※:室内カメラとリアカメラのデータは使用の有無にかかわらず、共通のデータに集約されます。

⑩録画の場合はファイルがいっぱいになると、上書きを行います。必要なデータはPCなどへ保存してください。

⑪microSDカード内の構造とファイルの種類について



⑫Gセンサー検知時にロックされたファイルがいっぱいの場合、microSDカードに書き込みができません。

⑬microSDカードは「読み出し・書き込み」を繰り返し頻繁におこなう必要があるドライブレコーダーとの組み合わせにおいて、microSDカード自体の半導体チップ内に不整合情報が蓄積されていくことがあります。

そのような状態のSDカードを使い続けた場合、microSDカード自体の画像の記録保持機能だけでなく、ドライブレコーダー本体に対しても誤動作をとまなう障害を誘発してしまうことがあります。

そのような場合は定期的にmicroSDカードをフォーマットしたり、別途市販のmicroSDカードに差し替えていただくことをおすすめいたします。

⑭本製品に同梱されているmicroSDカード以外に、市販のmicroSDカードをご使用になる場合には、クラス、容量の仕様の制約の他に、本機と親和性のない製品も存在します。すべての市販品との製品親和性組み合わせについては、追従できない場合もありますので、あらかじめご理解の上でご使用いただきますようお願い申し上げます。

7: 主な仕様

製品仕様

電源電圧	入力: DC12V~24V (DC5V/1500mA)	記録形式	動画: AVI
消費電力	3.6W	フレームレート	30fps
動作温度範囲	0~45°C	HDR機能	オン(初期値)/オフ
モニター	3.0型IPS液晶パネル (解像度: 640x360)	ループ録画	オフ/1分(初期値)/2分
フロントカメラセンサー	200万画素	音声記録	オフ(初期値)/オン
フロントカメラレンズ画角	115°	オートパワーオフ	オフ(初期値)/1分/3分
リアビューカメラセンサー	100万画素	スクリーンセーブ	オフ(初期値)/3分/5分/10分
リアビューカメラレンズ画角	75°	電子音	オフ/オン(初期値)
Gセンサー	オフ(初期値)/低/中/高	スピーカー	1W/8Ω
記録媒体	microSDHCカード (クラス10以上推奨/容量8~32GB)	電源端子	miniUSB
記録方式	自動 (本体起動時に録画開始)	リアカメラ端子	専用端子
		内蔵バッテリー	180mAh
		バッテリー使用時間	約1分
		外形寸法	本体: 90x17x56mm
		重量	本体: 54g

※仕様(同梱物を含む)およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

8: 故障かなと思ったら

状態	考えられる原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・DCシガー電源アダプターが正しく装着されているか確認してください。 ・シガーソケット内が汚れていたりすると、正しく給電されない場合があります。清掃を行なってください。 ・内蔵バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電している可能性があります。電源を接続して使用してください。
撮影ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影可能枚数の解像度別の上限に達していないか確認してください。
カードエラーと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 ・microSDカード内の記録映像等PCへ保存してから、フォーマットしてください。
カードがありませんと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機にmicroSDカードを挿入してください。
フォーマットカードが必要です	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードをフォーマットしてください。
ファイルがいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカード内のデータをPCへ保存して消去してから、再度本体に挿入してください。 ・Gセンサーにて検出された動画データはファイルがロックされます。ロックされたファイルは上書きされません。また本機からロックされたファイルは消去することはできないので、全ファイルをフォーマットするか、もしくはPCでロックされたファイルを削除してください。
動作しなかったり、誤作動を起こす	<ul style="list-style-type: none"> ・本体上部のリセットボタンを、先の細いもので押し本体を再起動させてください。

状態	考えられる原因
<p>既設の車載テレビの地デジ番組がワンセグしか視聴できなくなった。または視聴できなくなった。</p>	<p>電化製品は動作時に、その回路基盤からノイズを放出したり、他の機器からのノイズを受けることがあります。その影響は環境によりまちまちで、問題が発生する場合もあれば、全く影響を受けないこともあります。</p> <p>影響のある場合には以下の対応を試してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの機器を極力離して使用してみる。 ・アンテナの取り付け位置を変える。 ・市販の電磁波防止用のシートで、ノイズの発生元を遮断する。 ・ケーブル類にはノイズの伝送を低減することができる、フェライトコアなどを装着する。

保証書

本保証書は製品ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)、などによる故障及び損傷。
 - ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
 - 液晶の損傷。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- データの取り扱いについて
 - 本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いませんので、ご了承願います。
 - 修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の設定を初期化、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録した設定等は失われます。
 - 修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。
当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。
※修理の際に大切な記録データは必ずバックアップをおとりください。
 - 修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は製造元の所有物として回収させていただきます、返却は致しかねますのでご了承願います。
- 本規定の変更
当社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本規定の内容を変更できるものとします。この場合、本保証書の提供条件は変更後の規定によるものとします。
なお、変更後の規定については、当社ホームページにより通知するものとします

ご購入日	西暦	年	月	日
お客様名				
保証期間	ご購入日より 1年間			
機種名	KH-DR200			
ご購入販売店、住所、電話番号				

商品お問い合わせ先
株式会社 カイハウジャパン
〒192-0903 東京都八王子市万町 10-1
TEL: 042-686-3645 (サポートセンター)
受付時間: 月～金曜日(祝祭日除く)10時～17時